

2022年6月6日

「ミサワバウハウスコレクション」から 24 点を出展

「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展に特別協力

- 愛知県、豊田市美術館にて6月7日（火）から9月4日（日）まで開催
- 1910年代から30年代に西欧中心に各地で現れたさまざまな「モダン」の形に焦点を当てた展覧会
- 「ミサワバウハウスコレクション」からエーリッヒ・ディークマン「小椅子」など24点を出展



エーリッヒ・ディークマン
《小椅子》1928年頃



グンタ・シュテルツル
《テキスタイルのデザイン》1927年

©VG BILD KUNST, Bonn &
JASPAR, Tokyo, 2022 E4625

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、愛知県の豊田市美術館にて開催される「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展に特別協力し、所蔵する「ミサワバウハウスコレクション」の作品24点を出展します。なお、本展覧会は島根県立石見美術館、東京都庭園美術館に巡回する予定です。

1919年にドイツで設立された造形学校「バウハウス」の思想は、デザインや建築、造形教育において今なお世界に多大な影響を与えています。ミサワホームはバウハウスのデザインから多くの学びがあると考え、1989年にバウハウス関連の作品の収集をはじめ、1996年に日本で唯一のバウハウス専門美術館「ミサワバウハウスコレクション」を開設しました。現在は作品約1,500点、資料約1,200点、芸術関連の蔵書約13,000冊を所蔵。日本最多のバウハウス関連物を所有しており、国内外の美術館へ出展・一般公開して啓蒙活動に取り組んでいます。

今回開催される展覧会は、西欧を中心に日本を含む各地でさまざまな「モダン」の形が現れた1910年代から30年代の作品を展示。当時の作家たちが国やジャンルを越えて同期し合い、共鳴しながら探求したいくつもの「モダン」の形が約400点集結して紹介されます。「ミサワバウハウスコレクション」からはグンタ・シュテルツル「テキスタイルのデザイン」やエーリッヒ・ディークマン「小椅子」など24点の作品を展示。あわせて、ミサワホームグループの株式会社ミサワホーム総合研究所の学芸員が展覧会の図録にブルク・ギービツェンシュタイン美術工芸学校に関する論文を提供しています。

ミサワホームは、これまで収集したバウハウスコレクションや研究成果を活用し、多くの方が良質なデザインに触れる機会を提供することで、これからも芸術や文化の発展に寄与していきます。

■「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展の開催概要

【展覧会構成】

- (1) モダニティの萌芽 大戦前夜
- (2) モダニティの進展 大戦間の動向
- (3) モダニティの隆盛とモダニズムの進展 大戦後-1925年
- (4) モダニズムの隆盛と終焉

【豊田市美術館での開催概要】

会 期：6月7日（火）～9月4日（日）

主 催：豊田市美術館

共 催：中日新聞社

特別協力：東京国立近代美術館、東京藝術大学、ミサワホーム株式会社

協 力：日本航空株式会社、ヤマト運輸株式会社

助 成：一般財団法人地域創造

展覧会詳細：https://www.museum.toyota.aichi.jp/exhibition/mm_2022/?t=plan

※「ミサワバウハウスコレクション」から出展する24点は、会期中に展示替えがあります

【今後の巡回予定】

- ・島根県立石見美術館 2022年9月17日（土） - 11月28日（月）
- ・東京都庭園美術館 2022年12月17日（土） - 2023年3月5日（日）

以上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株) 管理本部 広報・渉外部 コーポレートコミュニケーション課 阿部正成 岩井須美佳

TEL：03-3349-8088／FAX：03-5381-7838

E-mail：koho@home.misawa.co.jp